



▶ 日々の活動は、Instagram で検索！！

▶ 議員活動・地域活動（抜粋）

【育てたい街】



地域における年末恒例行事

少子高齢化により地域行事が存続危機に。それでも、地域の皆様のご努力により継続的に実施することで、未来に行事を残す活動が続きます。私も積極的に参加していきます。

【暮らしたい街】



医療型短期入所施設 開設

一般質問で推進した医療的ケア児の医療型短期入所施設が、小児科併設で光町に誕生しました。県北地域の医療的ケア児に係るレスパイト（休息）に果たす役割は大きく、嬉しい限りです。

【訪れたい街】



パickleボール体験会

ニュースポーツの普及・誘致にも力を入れて活動しています。国際大会等の開催による競技者の皆様の来佐により、宿泊・観光等の賑わいづくりへの相乗効果が期待できます。

▶ 3月議会を終えて【より身近な議会を目指して】

議員の通称等の使用が始まりました。

通称等の使用とは、議員活動において、ひらがな表記、旧姓使用等を認めることで、社会生活と差異のない議員活動を可能にするものです。

何より、市民の皆様に関しやすき議会となることが期待されます。

私自身、公務時に、名前に関して主催者の方にお手数をおかけすることがありました。佐世保市に同規程がないことから、昨年の10月からこの規程制定に向けて、行政・議会と調整を図り、今日を迎えること出来ました。

行政・議員各位のご理解とご協力に感謝し、より身近な議会を目指して努力いたします。

【議員の通称等使用について】（佐世保市HPより抜粋）

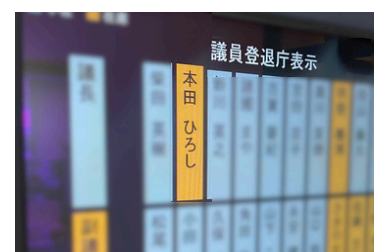
本市では、令和6年11月25日付で「佐世保市議会議員の通称等の使用に関する規程」を制定し、議会活動において、戸籍の氏名に代えて、**公職選挙法制度の通称**または**旧姓**を使用できることとなりました。

<公職選挙法制度の通称とは>

公職選挙法施行令89条第5項において準用する同令第88条第8項の規定により認定を受けた通称

<旧姓とは>

婚姻、養子縁組等の事由により戸籍の氏を変更した場合の変更前の氏



1. 学校等における性に関する教育について（抜粋）

現在の学校等における性教育の内容や実施方法について、多様性への配慮を含め、現状の課題と対策、今後の展望について伺いました。

問：佐世保市立小中学校における**性教育の実施状況**と、教職員に対する性に関する研修の実施状況をそれぞれお伺いいたします。

答：児童生徒の心身の発達には個人差があり、性に関する教育は、個別の対応も必要となります。**家庭と連携し、保護者の理解と協力を得ながら実施**しているところでございます。

問：性に関する情報は、インターネットやSNSを通じて手軽に得られるようになりました。**「はどめ規定」にとらわれず**、実態に即した、**より踏み込んだ性教育が必要**であると考えますが、教育委員会のご見解はいかがでしょうか？

答：子どもたちを取り巻く環境は日々変化しており、ネット上等での性情報の氾濫は憂慮すべき問題であり、**性教育の重要性はますます高まっていますと認識**しております。
児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に判断できるよう、**学校の実態に即した教育**を今後も進めてまいります。

まとめ：市の答弁は非常に残念であり、**社会実態に即して真剣に議論を重ねてほしい**と思います。

2. 市職員を取り巻く労働環境・施設環境について（抜粋）

本市職員の労働環境・庁舎や職場設備等の現状の課題と対策、今後の展望について伺いました。

問：職員意識調査の現状とその成果、あるいは**見えてきた課題**をお伺いいたします。

答：仕事の質に対しては肯定的な評価が多い反面、**業務量を負担に感じている職員や、組織に対する愛着に対しては否定的**な意識を持つ職員の割合が多いと分析できると考えております。

問：今後の改善に向けた取り組みの方向性についてお伺いいたします。

答：**エンゲージメントの調査**と向上の取組を推進し、職員の満足度を高め、その結果、市民満足度の向上に繋げる好循環を生み出していきます。

3. 本市の広報・情報開示の在り方について（抜粋）

本市の広報・情報開示について、デジタルを活用した情報提供の現状の課題と対策、今後の展望について伺いました。

問：市として分野横断的な情報提供の工夫など、**情報を一元的に取得できるような仕組み**の整備等についてどのように考えているのか伺います。

答：R7年度予算に、AIを活用した**イベント情報の集約サービスの開発導入**等を計上しています。

▶ 気になるワード

< はどめ規程 >

中学1年生の保健体育科の学習指導要領にある『妊娠の経過（性交渉）は取り扱わない』という規定です。しかしながら、現状に合わせて発展的内容を教えることは各判断に委ねられ問題はありません。

< エンゲージメント調査 >

従業員と企業のつながりの強さを測定する調査です。従業員のモチベーションや会社への愛着心、貢献意欲などを把握することで、組織の課題を特定し、改善策を立案するのに役立ちます。

< 集約サービスの開発導入 >

市内のイベント情報をAIが自動で収集・集約し、1つのサイトにまとめるものです。これにより、市民の皆様が必要とする情報を1つのサイトで簡単に検索していただけるようになります。

▶ 経歴

1979 | 昭和54年3月22日生まれ（46歳）

東大野幼稚園 ▶ 三川内小 ▶ 三川内中

▶ 佐世保南高 ▶ 広島大学 法学部法学科

2003 | 平成15年 実家の窯業にて父に師事

2006 | 平成18年 衆議私設秘書・公設第一秘書

2013 | 平成25年 市長私設秘書

2022 | 令和04年 社会医療法人財団白十字会 入社

2023 | 令和05年 佐世保市議会議員 初当選

▶ 本田ひろし後援会事務所

【住所】 〒859-3157 佐世保市桑木場町450-2

【電話】 080-8396-3629

【mail】 hiroshihonda.official@gmail.com



後援会入会



< 討議資料 >